

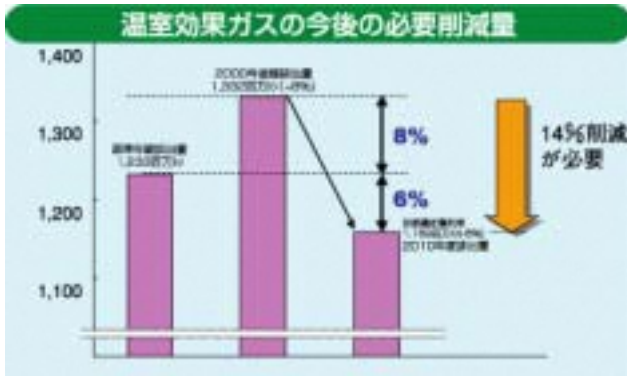


城陽エコパートナー通信

Vol. 5

発行日：平成 17 年(2005 年) 4 月 8 日

編集・発行：城陽環境パートナーシップ会議
(事務局) Tel (56)4061 Fax (56)3999



京都議定書が発効しました

～みんなで減らそうCO₂～

「京都議定書」が去る2月16日(水)に発効し、地球温暖化問題への国際的な取り組みが、重要な第一歩を踏み出しました。皆さんも、家庭での省エネなど、地球に優しい生活を心がけて温暖化防止に協力しましょう。

「京都議定書」とは？

平成 9 年に地球温暖化防止京都会議(COP3)が開催され、先進各国の温室効果ガスの排出について法的拘束力のある「京都議定書」が採択され、日本においては、平成 20 年(2008 年)から平成 24 年(2012 年)までに、温室効果ガスの総排出量を平成 2 年(1990 年)レベルから 6%削減することが義務づけられています。

温室効果ガスの排出量は、平成 12 年度現在で平成 9 年度レベルより 8%増加しているため、これも含め約 14%の削減を行う必要があります。

城陽エコパートナーの取り組み

府地球温暖化防止活動推進センターと共催した「地球の学校」では「どうなるの？この地球」「風と菜の花のエネルギー」「環境家計簿とごみ問題」の3テーマで、推進センター講師の講演と菜の花プロジェクト施設(滋賀県)「エコ・ポート長谷山」のリサイクル工房、「京エコロジーセンター」の諸施設を見学、車中では環境クイズにも頭を捻りました。同じく推進センターと共催した「親子地球温暖化教室」では十数組の親子と一緒に「地球温暖化」の影響について考えた後、太陽電池を用いたメロディハウス作りに挑戦し、新エネルギーの仕組みを学びました。(写真)

環境家計簿については、家庭でのムダを省き生活を見直すと同時に CO₂ 排出量を算出できるよう工夫した「環境家計簿 じょうよう」の普及を図っています。「省エネの工夫をした成果がはっきりと分かる」「府下の同じ家族構成の家庭との比較も出来、ちょっと努力して家計簿をつけて良かった」との感想も聞かれます。

また、生ごみ処理機のモニター使用については、4月16日に環境井戸端会議を開きます。(詳細は3Pに掲載)

毎月2回開いている部会に、一人でも多くの会員が参加して、各人が何かひとつでも行事と関わりをもってさまざまな活動を進め、子供たち、孫たちにより良い環境を引き継いでいきたいものです。



花いっぱい運動にご参加ください



「城陽エコパートナー」の事業の一つである「花いっぱい運動」展開の計画は、総論賛成、各論今一步という所で、“アヒルの水かき”の態です。

とは言え、展開の一步ともなる年間を通じての活動を示す場の案件について、曲折はありましたが、ようやく会議メンバーの紹介により、確保できたことは大きな前進ではないでしょうか。(休耕田の活用)

城陽エコパートナーの会員の皆さんが世話する休耕田活用での「花いっぱい運動」の特異性を示すことにより、ここを足がかりとして市内に点々と活動を示す場が増えることを願っております。

そのためにも、“お花畑”等の育成、関与に興味や経験のある方のエコパートナー会議への積極的な参加をお願いします。(花の里親制度の一環)

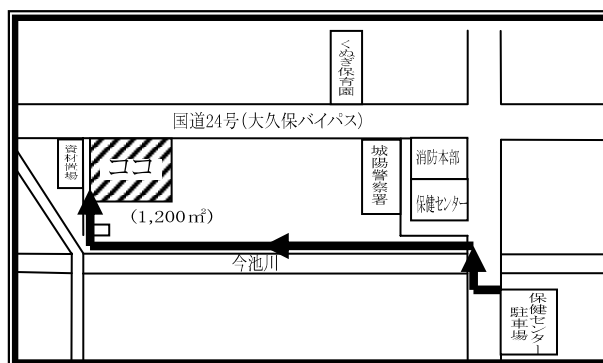
処女作として“コスモス畑”を計画し、その準備作業～播種～草取り等々の作業予定があります。なお、開花時期に合わせて、それなりの行事を予定しております。

また、会員の皆さんの中で、休耕田等の空地や未利用地使用の許可が得られそうな情報をお持ちの方があれば、城陽エコパートナーあるいは、事務局までお知らせください。(趣意書の配布)

市域全体に花を増やそうとする、この運動への会員の皆さんの参加により、緑化促進の環を広げ地域との交流を深める中で、緑豊かな街の実現と自然の大切さを後世に受け継ぐことを目標にしていきたいと思えます。



実施場所(富野久保田 約 1,200 m²)



会員通信づくりに参加しませんか

城陽エコパートナー会員通信の発行作業は、企画、原稿作成から編集まで、すべて部会のメンバーにより行っています。

興味や経験のある方は、お気軽にご参加ください。

詳しくは事務局まで。(市役所 2 F 環境企画課内 TEL : 56-4061)



「身近な河川と動植物の観察会」を開催しました



3月13日(日)、奈島の十六川～木津川河川敷で、中川宗孝氏(環境省鳥類標識調査員)と植田光弘氏(環境生物研究会)に講師をお願いして、城陽生きもの調査隊の協力のもと、観察会を実施しました。

国道24号から十六川沿いに西へ。寒の戻りの引き締まった空気の中にも、ヒバリ・ウグイス・ケリは春を告げる所作。

十六川は木柵と一面の川藻に、メダカ・ドジョウ。PH(水の酸性の強さ)やCOD(水中の有機物量)の水質調査も行いました。しかし、のどかな気分は、中村川都市下水路との合流点で消滅。三面側溝の「下水路」に、染色工場の紫色の排水が・・・

国道24号に架かる天井川として、おなじみの長谷川の土手に達すると、東部丘陵地から木津川にのびやかに広がるパノラマ。木津川の河川敷に入っすぐに、目の前の茶畑から突然キジが2羽飛び立ち、一同唖然。調査用の霞網に架かっていたセキレイなど6羽の測定、標識付けを見学した後、鳥の持ち方の実習。鳥は、体温が高く、心臓が速く、小雪のちらつき始めた天候にも負けない懸命の主張が伝わります。

次に、植田氏が収集・作成された羽毛標本による講義。この日、3時間で確認した野鳥はなんと36種類！

帰路は、恒例のごみ拾いをしながら、自然を守ろうとする両氏の熱い思いと、汚して恥じない人間の所業とを話し合いました。

環境井戸端会議のお知らせ

「生ごみ減量で快適で環境にやさしい暮らし」

生ごみ処理機等を使うと

生ごみが家庭にたまらないので、衛生的。ごみが軽くなってごみ出しも楽になります。

生ごみを肥料として再利用できるので、家庭菜園などで活用できます。

それでは、始めてみよう・・・と思われた方は、是非この環境井戸端会議にご参加ください。いろいろな生ごみ処理の方法について紹介します。既に取り組んでいる方、楽しく意見交換しましょう！

内容(予定)

パネルディスカッション 「生ごみ処理機を使ってみて」

パネリスト：乾燥式、バイオ式、コンポスト、EM菌等の生ごみ処理機の使用経験者
事例発表 「生ごみと環境家計簿」

発表者：家庭での生ごみ減量と環境家計簿の取り組み実践者

日時：平成17年4月16日(土) 午後1時30分～午後3時30分

場所：城陽市福祉センターホール(城陽市寺田東ノ口17・市役所隣)

お気軽にご参加ください。事前の申し込みは不要です。



活動紹介



「NPO法人 エコー城陽」

NPO 法人エコー城陽の平成16年度の活動を紹介します。

◆9月4日(土) 東部コミュニティセンターで「ジュニアエコシンポジウム」を開催しました。小学生、中学生と父兄によるパネラー5人と総勢57人が参加され、「地球を救うために私が出来ること」と題して、日常の省エネ活動、団体活動での

ごみ拾い、太陽光発電の体験、日頃感じていること等の紹介と意見交換を行いました。継続的な活動への足がかりが出来たものと思います。

◆12月3日(金) 鳥羽水環境センターおよびサントリー山崎蒸留所の見学会を21人の参加を得て実施しました。同センターは、伏見区にある京都市最大の下水処理施設で、生活廃水を集め、沈殿処理、殺菌工程を経て川に放流される行程の説明と施設見学を行いました。沈殿除去された汚泥は、濃縮、微生物消化を経て、高温で焼かれて石材化され、ベンチや歩道などに再利用されています。サントリーは、ウイスキー製造過程の見学でしたが、ごみゼロ運動に力を入れており、樽などの廃材はテーブルや床材に、絞りかすは堆肥等に再利用されています。

◆3月12日(土) 宇治植物公園にて36人の参加を得て、「ハーブの暮らしに与える影響」と題する本間園長の講演と、ローズマリーおよびチャイブの植え方の講習を実施しました。ハーブは含まれる成分が人の暮らしに大変役立つ植物で、料理やお茶を楽しみ、殺菌・防腐・防虫作用を利用し、人の心と体に働きかけ、アロマセラピーとして役立っています。

このコーナーでは、皆さんの『環境保全に向けた活動』や『省エネ・リサイクルのアイデア』などをご紹介します。掲載を希望される方は、事務局までご連絡ください。

部会に参加しませんか

■生活・自然部会

身近な河川や動植物、花いっぱい運動 など

■循環・地球環境部会

ごみの減量、太陽光発電、環境家計簿 など

開催日時：いずれも毎月第1・第3木曜日の午後7時～9時(変更の場合あり)

開催場所：市役所内会議室(変更の場合あり)

申し込み：参加を希望される方は、事務局までご連絡ください。



次の方・団体から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。

イズミヤ(株)大久保店、京都城陽ロータリークラブ、近畿砂利協同組合、京阪観光開発(株)東城陽ゴルフ倶楽部、サントリー食品工業(株)宇治川工場、(株)城南工建、城陽金融会、城陽市建設業協会、城陽市役所、城陽商工会議所、(社)城陽青年会議所、白鳥幼稚園、星和電機(株)、玉井開発、中西佳男、長池工業(株)、(株)長尾組、日本観光ゴルフ(株)城陽カントリー倶楽部、

(株)富士産業開発社、(株)平和堂アル・プラザ城陽、(株)ミズホ、森澤博光、(株)山岡製作所

※平成17年3月末日現在(五十音順・敬称略)